

# 東京2020大会

## 開催まであと200日!

(2020年1月6日時点)

オリンピックイヤーがついに開幕!

大会を盛り上げる本市ゆかりの選手や市民の皆さんの取り組みをご紹介します。

■問/東京オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進室 ☎563-5660

### 佐々木真菜選手(東邦銀行)が東京2020パラリンピックの代表に内定!



▲2019年11月7日に開催したパラ陸上世界選手権で58秒38で4位に入った佐々木選手(写真左)

本市出身の佐々木真菜選手(東邦銀行)が東京2020パラリンピック陸上女子400m(視覚障害T13)の代表に内定しました。県勢の代表内定第1号です。

佐々木選手は「金メダルを目指して頑張ります。そして、応援してくれる福島の皆さんに笑顔と勇気を届けたいです」と大会への意気込みを力強くお話ししてくれました。

世界の大会に臨む佐々木選手をみんなで応援していきましょう!



### 福島市×福島明成高等学校 おもてなしコンテスト 投票受付中!

東京2020大会に向けてホストタウンを訪問する世界各国・地域の選手などに、日本の食材やおもてなしの心の素晴らしさを発信するため、農業高校とホストタウン自治体が連携して実施している「GAP食材(※)を使ったおもてなしコンテスト」。本市は福島明成高等学校(以下明成高校)とプロジェクトチームを結成し、本市のホストタウン交流相手国「ベトナム」の選手や関係者をおもてなしする「実・湧・満・彩 おもてなし計画」を企画し、コンテストに出場中です。

明成高校2年生8人が考案したおもてなし料理のレシピなどは、コンテスト事務局ホームページをご覧ください。



▲おもてなし計画を企画した明成高校2年生8人



▲明成高校産のお米を使ったおこわ



▼ベトナム料理の生春巻き



おもてなしコンテストは、ウェブで応援投票が1日1票投票できます。応援よろしくをお願いします!

※GAP食材とは?

食品安全、環境保全、労働安全などの持続可能性を確保するための生産工程管理の基準を満たしている食材のこと。

### 「2020ふくしま市民応援団」創設1周年! まだまだ団員募集中!

オール福島で大会を盛り上げるために創設した「2020ふくしま市民応援団」は、2020年1月で1年を迎えました。現在、261の個人・団体の団員がさまざまな活動を行っています。団員には団員証と2020応援缶バッジをお渡しし、関連情報をメールなどで配信します。東京2020大会を「支えたい」「応援したい」という方、ぜひご登録ください!



▲2019年6月に本市で開催した「東北絆まつり」では、来場者に東京2020大会のPR活動をした市民応援団

登録方法、活動内容など詳しくは市ホームページをご覧ください。



#### 防災と災害情報メールマガジンをご利用ください

災害情報などをお知らせするメール配信サービスを行っています。メールアドレスを登録すると、情報を受け取ることができます。

●問/危機管理室 ☎525-3793



スマートフォン用



携帯用